
向日葵と太陽

零桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

向日葵と太陽

【Nコード】

N7685A

【作者名】

零桜

【あらすじ】

短編というには、短すぎる。 向日葵と太陽が夏に、とても綺麗な
訳とは……？

(前書き)

夏に、ちなんだ詩です。

貴方はきつと知らないんだろうなあ。私がずっと見てるってこと。ずつと好きだつてこと。

向日葵は夏の間中、ずっと太陽を見て思ってる。

向日葵はきつと太陽に恋してる。

『太陽さん、貴方の近くに行きたいよ。でも貴方はあまりにも遠い存在なんだね。分かっているよ…でもやっぱり望んでしまうんだ』

貴方と話し出すとやめられないよ。緊張で死んじやいそうだけど、それを貴方は黙って見守っていてくれる。許してくれる。

その優しさがあまりにも大きくて…。その笑顔があまりにも眩しくて。時に、私にとっては残酷で…。

『向日葵さん、貴女はそこで綺麗に咲いている方がいいよ。貴女は地上のタイヨウでいなきゃ。僕はいつもココにいるから、大丈夫』いつもココロに響く言葉を掛けてくれる。

ねえ貴方はどう思ってるの？

私とおんなじ気持ちなの？

それとも、他の子のことを見てるの？

凄く不安になる…だって貴方は、皆のものだから。

ただの片思いだけど…小さな片思いだけど…私のココロは苦しくてキツくて、泣きたくても涙は出てこなくて…。

もう、こんな想いするくらいなら逢わなければ良かった。好きにならなきゃ良かった。

でも貴方を見ないとダメなの。だから、貴方が雲に隠れた日は私のココロは不安定になる。貴方を見ただけで、一目見ただけで私のココロは安定する。

だから私は、どんどん背伸びをするんだ。貴方の近くにいたいから。

貴方を近くで見たいから。

贅沢は云わないから…神様、あの人に逢わせて下さい。

貴方に…貴方だけに逢いたい。

貴方が世界で一番好きです。

ねえ、私は貴方を好きでいてもいいですか？

地上から見ただけでいいから。

夏の間だけでいいから…私が生きてる間だけ、貴方を好きでいさせて下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7685a/>

向日葵と太陽

2010年10月26日05時55分発行